

## 《Lesson 3》 「～に（よって）」の by ~

受動態の文では「～に（よって）～される」のように「誰」や「何」によってその行為がされたかを by ~ を使って表すことが多いです。この by は、「～で（例：自転車で）」といった方法の意味を表す by とは異なるため、

**by の後に a / an / the（冠詞）や所有格を入れることも可能**

となります。

### 【受動態の肯定文：基本の形】

**主語 + be動詞 + 過去分詞 + by~.**

(主語は～に（よって）動詞されます)

<例> His songs are loved by many people. (彼の歌はたくさんの人に愛されています)

This building was designed by his father. (この建物は彼の父親によってデザインされました)

### ポイント！能動態 → 受動態

よく「次の能動態の文章を受動態にしましょう」という問題が登場するが、その時は以下のように文章を書き替えるのが基本的なやり方です。

能動態： 名詞 1 + 動詞 + 名詞 2

受動態： 名詞 2 + be動詞 + 過去分詞 + by + 名詞 1

<例> 能動態： Many people love his songs.

受動態： His songs are loved by many people.

### 【受動態に“by”を足した文：作り方】

ステップ①： 「～に（よって）」の部分を除いた受動態の文を作る。

ステップ②： 「～に（よって）」の部分を超過去分詞の後に足す。

### <例1> 「彼の歌はたくさんの人に愛されています」という文の場合

ステップ 1： 「～に（よって）」の部分を除いた受動態の文を作る。

「彼の歌は愛されています」

His songs are loved.

ステップ 2： 「～に（よって）」の部分を超過去分詞の後に足す。

His songs are loved by many people.

<例2> 「この建物は彼の父親によってデザインされました」という文の場合

ステップ 1: 「～に (よって)」の部分を除いた受動態の文を作る。

「この建物はデザインされました」

This building was designed.

ステップ 2: 「～に (よって)」の部分で過去分詞の後に足す。

This building was designed. **by his father.**

**ポイント! by～ について**

基本的に by～ の形は副詞句 (副詞として扱われるフレーズ) となります。「それじゃあ他の副詞句も登場する場合どちらの方が先に使われるの?」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、その答えは「通常、by ～ が先に来ます。しかし、時間を表す副詞 (句) を強調したい場合は、時間を表す副詞 (句) を先に持ってくることも可能」となります。

<例> 「この建物は、10年前に彼のお父さんによって設計されました」

1. This building was designed **by his father 10 years ago.**

(「誰が設計したの?」という質問の答えにはこの形が好まれる)

2. This building was designed **10 years ago by his father.**

(「いつ設計されたの?」という質問の答えにはこの形が好まれる)

**ポイント! 受動態より能動態の方が多く使われる**

基本的に、受動態は能動態と比べると使われる頻度がそこまで高くありません。また、**ネイティブの多くは受動態よりも能動態の方を好んで使います**。しかし、特別な理由がある場合は、受動態が使われます。それでは特別な理由とは何か? ポイントは、

**話の焦点が「行為者」ではなく「何かをされた人・物・こと」に置かれている**

というところです。

**《特別な理由①: 「誰によって」という点あまり重要でない、または不明な場合》**

<例 1> This room is always used. (この部屋がいつも使われています)

【解説: 「別の部屋ではなくこの部屋」といったニュアンスで、「使っている人」ではなく「どの部屋なのか」に焦点が置かれている。】

<例 2> Tokyo Tower is very famous. It was built in 1958.

(東京タワーはとても有名です。1958年に建てられました)

【解説: 東京タワーを建てた人は分からない。また、話しの中心は「建てた人」ではなく、「東京タワー」。

《特別な理由②：文脈上、主語を統一した方が分かり易い場合》

<例 1> The name of our company is With. It was named by the first president.

(わが社の名前はウィズです。最初の社長によって名前がつけられました)

【解説：前の文が「わが社の名前」についてなので、主語を統一するため  
2文目は受動態が使われている。】

<例 2> This library is very famous because it was built more than 100 years ago.

(この図書館はとても有名です。なぜなら、100年よりも前に建てられたものだからです)

【解説：becauseの前の主語が「この図書館」なので、主語を統一するため  
becauseの後も受動態が使われている。】